

## 新型コロナウイルスの変異ウイルス対応

### 1. 新型コロナウイルスの変異ウイルスに関する状況

現在、新型コロナウイルスの変異ウイルスについて、WHOでは、イギリス型、南アフリカ型、それにブラジル型の3つの変異ウイルスを懸念すべき変異株に指定しています。イギリスから世界に広がりつつある変異型ウイルスは、感染力が従来のウイルスより70%程度強いと報告されています。実効再生産数( $R_t$ :1人の感染者から何人に感染するか)は、従来のウイルスより0.52から0.74程度高く、また致死率も同程度高いとされています。日本国内の解析でも、イギリス型は従来のウイルスより感染力が30%高く、感染者における0歳から17歳までの子供の割合が、従来ウイルスより2倍弱に増加しています。

従来型ウイルスの実効再生産数  $R_t$  は 0.94 と 1 を下回りますが、イギリス型変異ウイルスの  $R_t$  は 1.23 と、感染拡大傾向が続いています。従って、イギリス型に対しては、蔓延防止法を経て3回目の緊急事態宣言が東京都、大阪府、京都府、兵庫県に発令されています。

新型コロナウイルスの変異ウイルス (国立感染症研究所より)		
	感染力	重症化
イギリス	50~70% <b>増</b>	40~50% <b>増</b>
南アフリカ	<b>増</b>	なし
ブラジル	<b>増</b>	なし

### 2. 変異ウイルスに対する感染予防のウチヤ強化対策

従来の濃厚接触対策を2倍にする強化策をウチヤでは実施中です。

- (1) 通勤途中や外部者との接触に置きましては、マスクを2枚装着することで対応。
- (2) 昼食時の3グループを6グループに小分けして、最大8名以下に接触度合いを低減、2m以上の着席間隔を広げ、昼食時間も20分以下とする安全策を取っています。
- (3) 食堂以外の食事・休息スペースにも、アクリル板衝立の設定、スペースを2倍に拡大させ2m間隔の確保を徹底させました。
- (4) 光触媒空気清浄機も15台を2倍に増設して、30台稼働を進めています。

(5) アルコール消毒の徹底、新型コロナウイルスの死滅時間(大阪大学医療機関資料参照)

『1』 空気中にエアロゾル状態でただよったウイルスは 3 時間で死滅。

『2』 物の表面に付着したウイルスは、①紙では 3 時間、②銅（コイン）では 4～8 時間、③段ボールでは 1 日、④木や布では 2 日、⑤ガラスや紙幣では 4 日、⑥プラスチックやステンレスでは 7 日経過までに死滅。キャッシュレスへの切り替えは感染予防になります。

特にプラスチックやステンレス(ドアノブや取手、等々)ではウイルスの生存期間(最長 7 日)が長くなりますので、定期的なアルコール消毒は不可欠で徹底します。

(6) 手洗いの強化は、手についたウイルスを洗い流すので、接触感染を防ぐことができます。飛沫やエアロゾルに含まれたウイルスが顔に付着している場合がありますので、手と同時に顔も石鹸で洗うとよい。

(7) ヒトに備わっている自然免疫が感染を抑えてくれることがあります。自然免疫(=抵抗力)を高めるには日頃の軽い運動が効果あり、十分な栄養と睡眠が必要です。

### 3. 感染対策の基本

- 1) 接触感染：感染者がウイルスの付着した手で物に触れ、別の人がそれを触ってその手で口、鼻、目の粘膜を触ることによって感染します。電車の吊革、スーパーでの買い物、共用のパソコンや机、電話機、リモコン、ドアノブなどを含めて、他人が触った物には触らない、やむを得ず触った場合は石鹸を使って手を洗う、或はアルコールで消毒することを徹底する。
- 2) 飛沫感染：ウイルスが含まれる飛沫をのどや鼻に吸い込むことによって感染します。マスクをしなくても 2 メートル以上離れていれば安全です。

**感染リスクが高まる「5つの場面」**

<p><b>場面1 飲酒を伴う懇親会等</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、騒音が騒音し、大きな声になりやすい。</li><li>● 特に数層などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。</li><li>● また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。</li></ul> 	<p><b>場面2 大人数や長時間におよぶ飲食</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほしご番では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。</li><li>● 大人数、例えば 5 人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。</li></ul> 	
<p><b>場面3 マスクなしでの会話</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● マスクなしに近距離で会話をするこで、飛沫感染やマスク口形感染の感染リスクが高まる。</li><li>● マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。</li><li>● 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。</li></ul> 	<p><b>場面4 狭い空間での共同生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。</li><li>● 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。</li></ul> 	<p><b>場面5 居場所の切り替わり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の種類や環境の変化により、感染リスクが高まることがある。</li><li>● 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。</li></ul> 

3) 空気感染：感染者が咳やくしゃみをした場合にウイルスを含むエアロゾルがただよい、それを吸い込み感染します。会議、昼礼などの際は、広い部屋で人口密度を下げ、参加者はマスクを着用し、十分な換気を 30 分に 1 回は必要です。

以上